

ひたちなか市の「カブコホームズジャパン」は、35年の歴史を持つアメリカのRV住宅メーカー「カブコ」の総輸入・発売元で、トレーラーハウスを販売している。550〜780万円の低価格で、市街化調整区域でも設置することができると法律上車両扱いとなるため、固定資産税がかからないというメリットがあることも人気の一つになって



トレーラーハウス



沼田院長(前列左)と職員ら

カブコホームズ
ジャパン(株)

【本社】

ひたちなか市市毛858-24

☎029-275-2622

【展示場】

ひたちなか市津田2829

☎029-275-7811

ゆったりした空間で 心身ともにリフレッシュ

いる。

同市津田の沼田内科クリニック(沼田信明院長)が、トレーラーホームMALL-681-1を購入したのは4月。「工事の必要がないし、スペースを余り取らないので土地の有効利用ができる。断熱などの機能性に優れているので条件にぴったり合った」と沼田院長。

駐車場の一角に設置した約38平方メートルのハウスは、広めのリビングルーム、作り付けの食器棚とレンジがセットになったキッチン、応接セット付きの仮眠室にシャワールームという間取りで、職員や看護婦ら14人が食事やミーティングをするスペースとして利用している。

全員が「内装は一流ホテル並みとグレードが高く、スペースも広いので、ゆったりした気分で休めます。快適です」と口をそろえている。